

茶の間

もうすぐ一年生になる新入生児をもつご家庭では、服装、持ちもの、健康のことなど、なにかと心づかいをされ準備に入っていることでしょう。

新入学生への心づかい

このごろは大半の児童が、保育所や幼稚園に入所しておられるので、小学校への入学といても以前ほど心配はないと思いますが、最低は、身につけておきたいものです。

自分の名前がわかる、書け、読める。

あいさつができる。

ハイ、イイエの意思表示ができる。

ハンカチ、ちり紙の使い方と管



理ができる。

自分の衣服の脱着ができて、用便がたせるなど。

とかく、勉強には神経質になりがちですが、なまじっか、字をおぼえさせたり算数など教えこんだりすると、かえって授業にさしつかえることもあるようです。少しばかりの勉強に先走ることよりも、まず身の回りの始末ができるようにしつけることのほうが大切です。

夜服の着かた、持ち物の整理やお手洗いがじょうずにできるようにしておいてくださることを、先生

直径一センチの鉄棒を曲げて折ろうとしてもなかなか折れませんが、やすりで少し、切り込みを付けると思つたより折れやすいものです。かりに切り込みの深さだけ全体を削り、小さくし、直径を八割にしてもきずがなくなると、またなかなか折れにくくなります。直径が二センチになります。直径が二センチも小さくなったから、たやすく折れると思われませんが、事実はこちらが折れやすくなります。きずの部分には力が集中するから折れやすい。だから大きな材料でも、これ位のきずは大丈夫と思つてみると、大変なことになる。

一本の棒にねちを少々切ったポイントなど、折れるときは多くの場合、ねちを切った部分と、切つてない部分のさかめから折れます。これはこの部分がきずになつたと同じだからです。一つの鉄棒が機械などに使われているとき、圧されたり、引張られたり、曲げられたり、たたかれたりする力がかかる、最も少ない力でどのような場合が折れやすいか、案外知らない人もいます。針金を持ってきてこれを折って見なさいと言へば、十人が十人あつちに曲げ、こつちに曲げたりして折ります。

どんな材料でも反対方向にくり返して力がかかると一番折れやすいものです。だからむづかしい理論は知らなくても、人々は自然にこのことを知っているわけです。

「小さなきず」

折れない人もいますが、針金

がたは期待しております。小学校は保育所ではないはず

です。

それにも、これまでも、これま

境におかれるわけですから、その生活に早くなれるように指導し、はげましてやることです。



南国署

1月中に届け出のあったひろいものはつぎのとおりです。心あたりの方は、ご遠慮なく署で確めてください。地名は拾った場所です。

27日	里改田	現金	30日	十市	現金	10日	後免横町	腕時計 (男)
28日	大津	大西正雄給与袋 (現金在中)	1日	後免	現金	10日	十市	自転車 (男)
28日	岡豊町	現金	2日	後免西町	自転車 (女)	11日	稲立	腕時計 (女)
29日	陣山	ハンドバック (現金在中)	3日	後免東町	現金	11日	立田	万年筆
29日	立田	菓子 (ボール箱入)	4日	高専	現金	12日	下野	財布 (現金在中)
			5日	高専	現金	13日	大柴	ラーメン9箱
			8日	後免	腕時計 (女)	13日	大柴	自転車 (子供用)
			9日	上野	防寒ジャンパー	18日	十市	現金
						21日	東大	自転車 (男)
						26日	大柴	現金
						26日	大柴	自転車 (男女兼用車)
						28日	大柴	自転車
						28日	大柴	自転車 (男) 2台